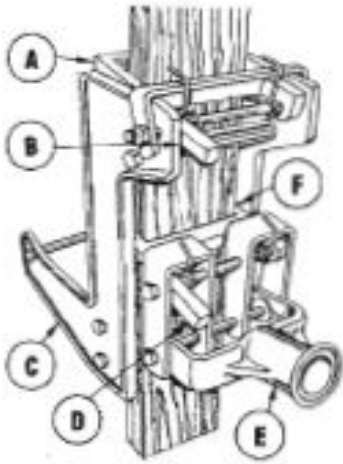


# ウォールジャッキ取扱説明書

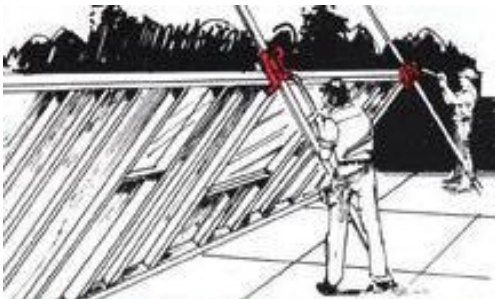
ウォールジャックを使用して壁材を立てる際の注意点

各部位の名称



- A : バネ装置 1
- B : リリース・タブ 1
- C : 壁掛け
- D : リリース・タブ 2
- E : ハンドル受け
- F : バネ装置 2

ステップ 1



適した長さのポール(2X4 材)を選んでください。  
2X4 材の長さは下の表を参照ください。

壁のサイズ(高さ)	2X4 材の長さ
8 フィート(2.44 メートル)	12 フィート(3.66 メートル)以上
8.5 フィート(2.59 メートル)	13 フィート(3.96 メートル)以上
9 フィート(2.74 メートル)	13.5 フィート(4.11 メートル)以上
9.5 フィート(2.90 メートル)	14.5 フィート(4.42 メートル)以上
10 フィート(3.05 メートル)	15.5 フィート(4.72 メートル)以上
10.5 フィート(3.20 メートル)	16 フィート(4.88 メートル)以上



警告：不安定な作業を回避するためにも、10.5 フィート(3.20 メートル)以上の壁へはご使用にならないでください。

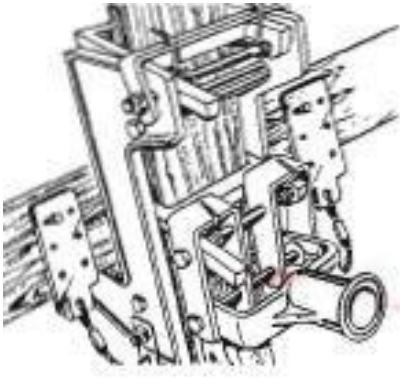
ステップ 2

ウォールジャックに 2X4 材を取り付けます。

まず、2X4 材をバネ装置 1 に挿入し、続いてバネ装置 2 にも挿入します。

2X4 材をウォールジャックに貫通させます。

### ステップ 3

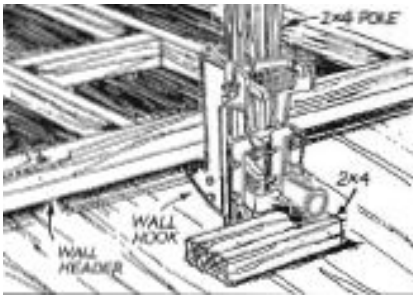


壁掛け部に立ち上げる壁材の上端をかけてください。この際に別売りのウィンドフック部品(品番 2601)を左図のように取り付けることをお勧めします。

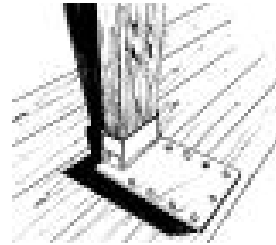
### ステップ 4

壁材を立ち上げる際に 2X4 材のポールが後ろにすべらないように、ポールがを上に向けた状態で、別の端材をポールの足元に固定してください。

この際にも別売りのウィンドフック自在軸受(品番 2601)を下の図のように取り付けることをお勧めします。



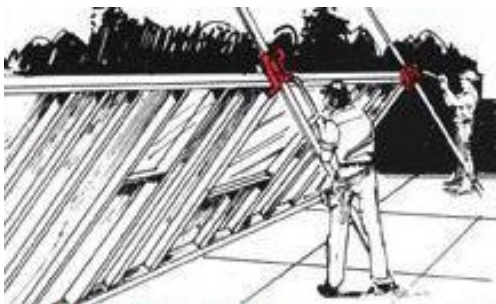
ウィンドフック自在軸受(品番 2601)



### ステップ 5

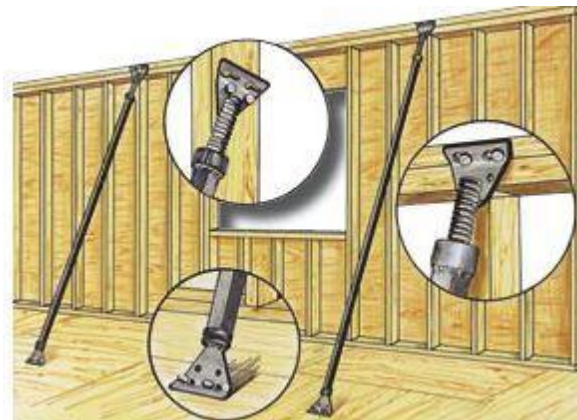
壁材に上記ステップ 1～4 の方法でウォールジャックのもう一つ取り付けてください。

### ステップ 6



ハンドル受けに 3/4 インチ(19mm)あるいは 1 インチ(25.4mm)径のパイプを挿入し、パイプを上下してポンプの要領で壁を立ち上げてください。2つのウォールジャックを同時に上げてください。

## ステップ7



壁材が真直ぐ立ち上がって固定されたことを確認しましたらウォールジャックを取り外してください。

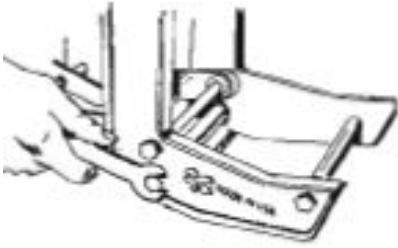
壁材を安全に固定するために別売りのウォールブレース(品番 2620)を左図の様に壁材の上端と床材に固定することをお勧めします。ポールを回すと壁材の角度が調節できます。



さらに、立ち上げた壁材と床材の位置を調節するためにウォールクラフト・ピービー(品番 2605 または 2610)をご使用ください。

## ウィンドフック使用方法

### ステップ1



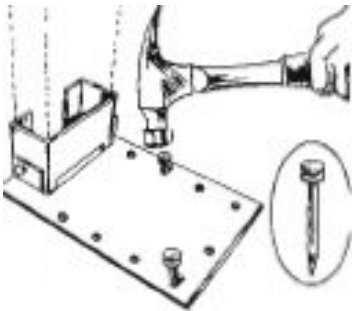
ウォールジャックの底部にあるボルトとナットを 9/16 インチのレンチを2本使用して取り外してください。

### ステップ2



ウィンドフックのケーブルに付属しているボルト穴が開いているクリップに、ステップ1で取り外したボルトを通し、ウォールジャックの底部側面の外側にクリップが配置されるようにボルトとナットで締結してください。

### ステップ3



ウィンドフック自在軸受を 10 番手のダブルヘッド釘2本で床に固定し、ウォールジャックが 2X4 材に取り付けられた上体で、ウィンドフック自在軸受の 2X4 材受け口に 2X4 材の底部を挿入してください。

### ステップ4



左図のように壁を立ち上げる前にウィンドフックを壁材の上端に 10 番手のダブルヘッド釘を 6 本(片方に 3 本)使用して取り付けてください。これで壁材の立ち上げの準備が整いました。